



水難事故対策・粗大ごみ・ 農業振興と特産物



会派 Kiku ● 東森 徹平 議員

- 問** 水難事故対策について
- 答** 他市町との比較分析、ライフジャケット着用推進などの具体的な強化計画はあるか。
- 問** トラシを回覧、市民へ対して啓発をしています。昨年度寄付いただいた子ども用ライフジャケット30着を活用、石部小学校および下田小学校に貸し出し、授業を行いました。
- 問** 大型粗大ごみについて
- 答** 直近の状況、ごみ出し困難世帯への支援策、不法投棄抑制のための啓発や連携強化について
- 問** 戸別収集、持ち込み件数は減少傾向。不法投棄対策として週2回のパトロールを実施。持ち込み困難世帯については本市が一般廃棄物の収集運搬の許可を行い、委託している事業者をご案内しています。
- 問** 農業振興と特産品について
- 答** 『こっぴあ』について
- 問** 各商品の出荷時期

- や売れ筋の推移を把握し店内レイアウトを変え。現在は新鮮な野菜を求めるお客様が多く、午前中が人気です。情報発信やIT技術を活用した展開には課題がある認識しており、今後検討していきます。
- 問** 『HAT』について
- 答** 人気メニューの調査はSNS等で反響を確認し把握に努めています。今後は湖南三山や伝統工芸、工業団地といった多様な資源と連携し、ストーリー性のある施策を構築していきます。
- 問** お土産としての特産品販売について
- 答** 調味料やレトルト食品、乾燥加工品など、長期保存が可能な商品の開発が市内事業者や農業者により進められてきました。本市では滋賀DCを観光誘客の好機と捉え、商工会女性部が商品の開発・販売を行っており、新たな土産品づくりにも取り組みたいと考えています。



東庁舎建て替えは まず市民に問うべきでは



市民とつなぐネット ● 寺元 正幸 議員

- 問** 東庁舎建替の実施設計までの取組について
- 答** 二〇二〇年策定の実施設計活用により支出済み設計費が無駄にならず、工事着工までの期間短縮、交付税措置ある有利な地方債が活用できます。
- 問** 令和7年3月定例会の新築建て替えの方針表明までに、市長選挙で市民に建て替えか、耐震補強かを問うことができたと思うが、市長の考えは。
- 答** 庁舎整備については、新築表明に市民の意見を聞き、総合的に判断しました。選挙で市民に問えたのではとの指摘ですが、皆様と対話し十分広聴できたと考えています。
- 問** 改めて住民投票実施する考えはあるのか。
- 答** 住民投票は考えていません。

- 問** 湖南市における非正規職員の現状と今後について
- 答** 本市には、会計年度任用職員は一般事務、保育士、図書館司書等約300名、正規職員約450名と行政を担っています。
- 問** 引きこもり問題8050について
- 答** 令和6年度から実施。引きこもり支援ステーションでは、相談支援、居場所づくり、支援者のネットワークづくりを実施しています。
- 問** 西庁舎周辺施設整備事業のサウンディング内容について
- 答** 官民連携で公共施設等の整備の可能性を追求します。
- その他、学校外の子ども居場所支援の質問**